

# 歴史のまちが輝くとき。



## ドラマの世界

### 2013年大河ドラマ「八重の桜」

作：山本むつみ  
出演：綾瀬はるか ほか

#### 物語&解説

2013年（平成25年）大河ドラマ「八重の桜」は、戊辰戦争で、鶴ヶ城に立てこもり、銃を持って戦った会津の女性「新島八重」が主人公です。維新後、兄を頼って京都に入り、アメリカ帰りの新島襄の妻となった八重は、明治という新しい時代を力強く生きていきます。生涯自分の可能性に挑み続け、すべての人の幸福を願った会津女・新島八重と、仲間たちの愛と希望の物語です。



新島八重役の女優・綾瀬はるかさん（記者会見にて）

#### 「八重の桜」を結ぶ人

白河の歴史的意義を全国に……。  
戊辰東北戦争研究会会長 人見光太郎 さん



「八重の桜」の前半の山場は、八重が鶴ヶ城に立てこもり、銃を持って戦うシーンですが、会津藩がろう城に至るまでのストーリーには、白河口における東軍と西軍の戦いのシーンが欠かせません。先日、市職員の方が東京渋谷のNHKチーフプロデューサーとお会いしてきました。その中で、白河口の戦いの意義は十分認識されており、取材に白河市を訪れるとのことでした。幕末の歴史ファンに白河市をアピールする大きなチャンスだと思えます。

### 2011年11月公開予定

### 「ビターコーヒーライフ」



撮影を待つ入川保則さんと窪塚俊介さん（鹿島ガーデンプラにて）

監督：横山浩之／出演者：入川保則 山本ひかる 窪塚俊介 秋吉久美子 松方弘樹 前川 清 ほか

#### 物語&解説

「ビターコーヒーライフ」は、末期がんを患った俳優・入川保則さんの最後の主演作として、さらに福島県の復興を願って製作された映画です。入川さんが演じるのは、殺人犯の娘を養女として育てている元刑事の喫茶店マスターで、末期がんが余命わずかとなり、養女の実父を捜すという物語。白河市が全面協力したことにより、本市をメインとするロケが実現。一つひとつの風景が重なり合うとき、ここに住む全ての人が地域の魅力を再確認します。

Key person 「ビターコーヒーライフ」を結ぶ人



復興への情熱が映画となって……。  
白河市観光キャンペーンクルー 仁平妙子 さん

5月に開催した白河地方風評被害一掃キャンペーン時に、福島県ゆかりの著名人に参加のお願いをした際、秋吉久美子さんと業務提携している井内社長と出会ったのがきっかけとなりました。井内社長に風評被害、そして復興の現状を説明したところ、福島県の復興のために本市をメインのロケ地を選んでいただきました。入川さんの病状もあり、急ピッチで撮影が行われました。スクリーンを通して白河のまちなかのキラリと光る魅力が、観ている人の心に届くのではないかと思います。

## 映画の世界

### 2012年春公開予定

### 「トテチータ・チキチータ」



企画プロデューサー：古勝たつ子／監督・脚本：古勝敦／出演者：豊原功補 松原智恵子 寿 理菜 ほか

#### 物語&解説

「トテチータ・チキチータ」は、前世で死に別れた家族が現世で立場も年齢も違う人物に生まれ変わり、とあることをきっかけに、存命している妹と巡り合うという心温まるファンタジー映画です。当初は古勝たつ子プロデューサーの故郷・伊達市を中心とした県北地域のみで撮影を行う予定でしたが、撮影に協力したいという多くの声が集まり、白河市、会津若松市、いわき市、郡山市とロケ地が県全域に拡大。福島に込めた大きな思いが、今大きく花開く……。

Key person 「トテチータ・チキチータ」を結ぶ人



映画の光を届ける使命感を持って……。  
（株）大黒屋代表取締役 古川雅裕 さん

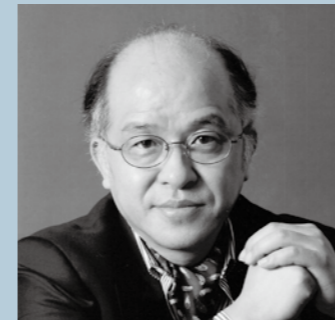
フィルムコミッショナーとして、これまで映画の撮影場所の誘致や撮影支援を行ってきました。この映画は、震災の影響で撮影が困難となりましたが、作品の中に震災を盛り込むシナリオへの変更、そして福島県全域で撮影することを条件に協力を承諾しました。映画に震災を盛り込むのは、心の傷に耐え、頑張っている人を描くことで、この映画が光になると思えたからです。その希望の光が日本全国へ、世界へ届くことを信じて、私は走り続けます。

## 小説の世界



#### 物語&解説

今年刊行された「一刀斎夢録」は、「壬生義士伝」「輪違屋糸里」に続く浅田版新選組の深い感動を与える大作です。ストーリーは、斎藤一の回想録を基に展開し、その中で、戊辰白河口の戦いで新選組隊長として活躍した斎藤一が描かれています。



#### 浅田次郎講演会「新選組とその時代」

◎日時 10月19日(水)午後6時30分から  
◎会場 ホテルサンルート白河  
※チケットは白河見聞館で！  
◎白河見聞館 ☎0248-8630

今、白河のまちが輝いている……。その輝きに敏感に反応するドラマ・映画を製作するクリエイターたち。白河の持つ本来の魅力を再構築し、さらに輝かせていく……。今月号では、白河を舞台とするドラマ、そして映画・小説をご紹介します。